

## KAGAWA アンバサダーからのお便り ～山本征治さん～

東京 六本木。大都会の中心地。香川で生まれ育った私が、この場所に自分の店を開くなんて夢にも思わなかった。

光洋中学校の生徒だったある日、事故で右足の複雑骨折。入院し受験もかなわなくなった。そんな時、落ち込んだ自分の気持ちを支えたのが実は料理だった。母親の“晩ごはん”作りの手伝いが好きで、料理はなぜか無心に楽しめた。父が母の料理を褒めた時、今日は、いっぱい征治が手伝ってくれたのよ。と、母が私のことを父に話す姿が、本当にうれしかった。

同級生が高校に通う中、自分には料理しかないと思い、アルバイトをした。藤塚町の家賃2万2千円のワンルームマンションで一人暮らしを始め、市内の様々な料理店で働き、19歳で四国調理師専門学校（現、KISS 調理技術専門学校）に入学（24期生）。あらゆるジャンルを受講したが、一番ピンときたのが日本料理だった。日本人がしょせん、外国の料理を語っても、その料理のオリジナルは外国にしかない。すなわち日本人が日本から世界に発信し、通用できる本物は日本料理だけなのでは？本物が我が国にある以上、日本料理で日本一を目指せば、世界に通ずる道となる。外国のコピー料理を模倣しても自らの先はない。高校にも行かず、ひたすら自分の生き様を探し求めた若き日の自分が出した未来予想図だった。

当時インターネットもない中、芽生えた意識を埋めてくれたのは宮脇書店だった。お金のない私は、とにかく料理本を片端から立ち読みし、知識として蓄えた。日本一の料理屋はどこなのかを探りたかった。そしてこの先、どんな修行をも覚悟した。

自由奔放に生きることを公私ともに貫き、今でも「料理バカ」以外の何者でもないが、高松出身、中卒の一料理人は香川県が誇る農林水産物を料理という形で日本中に広めたことを国に評価され、本年度、農水省より料理マスターズの称号を頂くこととなった。



第8回農林水産省料理人顕彰制度  
「料理マスターズ」にてブロンズ賞を受賞



**山本征治（やまもとせいじ）さん**

「日本料理 龍吟」オーナーシェフ、「株式会社 Ryugin Japan」代表取締役。高松市出身。

◇ **KAGAWA アンバサダーについて**

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ **KAGAWA アンバサダーからのお便りについて**

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。